

大東市立歴史民俗資料館 市民学芸員REPORT

第7号

大東市立歴史民俗資料館
市民学芸員REPORT
2014年
9月25日発行
第7号
大東市立歴史民俗資料館
大東市野崎3-6-1
Tel 072-876-7011

好きが好
ちが好
まが好
きが好
やすみに帰るだけだった40年

だいとうに今お返しを

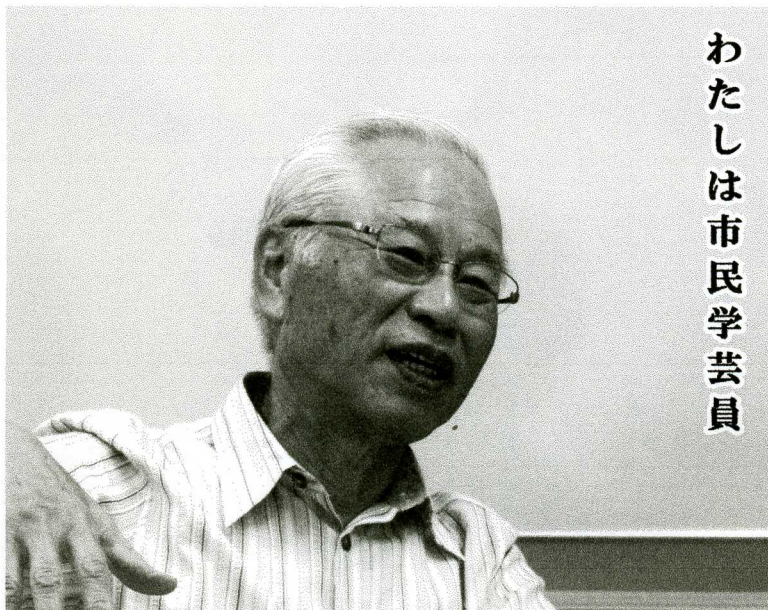
「私は市民学芸員」も七人目です。今回は、大阪市内に生まれた氏原稔夫さん。結婚して大東市へ、そして定年を経て市民学芸員になるまで、そしてこれからの活動について伺いました。

氏原稔夫さん
大東市緑が丘在住

・大東市で暮らすまで、どの
ような人生でしたか？

年も年だけに戦前の生まれです。昭和二〇年の大阪空襲のあったころ四歳くらいで、おふくろの里が信州松本で、そこに疎開したのだと思う。小学校二年生の時に、大阪に戻ってきて、戦災の復興住宅に居ました。当時の大阪市内は一面の焼野原で、難波高島屋から梅田の阪急まで、ずばりつとまる見えでした。道頓堀の、角座、松竹座や、学校は鉄筋やから、屋上に大きな穴が開いていたが残っていた。

学校を卒業して、丁稚奉公のようなこと三か月ぐらいしてたかな。道修町の小さな菓屋さんで下働き。自転車で大阪市内の間屋なんかに、買い付けにまわり、それを同業者に納品して売るみたいなこと。



わたしは市民学芸員

穏やかな語り口の氏原稔夫さん。堂山古墳に、野崎観音、どんなふうにガイドしていただけるのでしょうか。

と役所勤め。

・大東市に来られたのは？

結婚してから大東市。だげど恥ずかしい話やけど、全然知らなかった。大東市へ寝に帰っているようなもんやからね。朝七時に家を出たら、晩の八時・九時まで帰ってこない。帰りにも、住道とまりの電車にのって、家まで歩いて帰ったことが何回もある。

・なぜ市民学芸員講座へ？

定年前になったときに、何の趣味もなかったからね。自分の趣味みつけなあかんなど、老大（大阪府老人大学）に申し込んでみたんですよ。たまさかうまいこと一回で通ってしまった。歴史・考古学知らんのに、歴史・考古学コースで通ったんですよ。一年間、座学とか校外学習であちこちバスツアーなんか組んでくれてね。そこで古墳って名前聞いてね。神話の世界やと思ってたから、現地に行ったら、そこに現物があるからね。ピックリ再発見。その影響もあって、その続きみたいなものですね、市民学芸員講座。

・市民学芸員講座の感想は？

まったく知らない世界に入ったんやから、もっと知りたいなあっていうような感じですよ。あのままだったら歴史にふれあうことないもんね。新聞でも今まで、歴史もんは無視しとったけど、今では見るものをスクラップしています。家内には、「またゴミを溜めている」と怒られています。

(次頁につづく)



3回目を迎えて年齢層がグッと若返った「学芸員体験講座」

三回目を迎える
「学芸員体験講座」
わたしたち「市民学芸員」
はいままで、独自の「展示」
を三回でき、三頁目の「活動記録」にもあるような活動をできています。そしてもう五年目を迎えています。しかし「市民学芸員」の組織のマンネリを避け、引き続き生き生きと活動できるための条件の一つは「新人」の加入、です。

現在「市民学芸員講座」から名称が変わっての「学芸員体験講座」がもたれ、昨年に引き続き、年齢的にも若い方、幅広い地域の方が大勢おいでになっていきます。来春からもこの中からたくさんの方と一緒に活動でき、「市民学芸員」が完全に大東市に定着することを願っています。

原野農芸博物館のだんじり 被災から よみがえれ



▲「木片」ごとにバラバラになっているだんじりの部材を、箇所に応じて大小の刷毛を使ってホコリを払います。その後、水を含ませたブラシで丁寧に洗います。

このほど大東市立歴史民俗資料館は、文化庁の助成を得て「だんじりを活かした地域共働事業」として、原野農芸博物館所蔵のだんじりの調査をおこなうことになりました。

奄美豪雨によりバラバラにこのだんじりは、鹿児島県奄美市住用町にある「原野農芸博物館」（館長 原野耕三氏）にばらばらの状態で保管されているものです。

平成二二年一〇月の「奄美豪雨」は奄美市に大きな被害をもたらしました。土石流により博物館展示室も被災。だんじりも押しつぶされました（下の写真）。今回それを大東市立歴史民俗資

料館が一時借り受け、市民学芸員が活動の一環として加わり、計測、調査することになったのです。

枚岡から吹田へ

このだんじりはもとは東大阪市の枚岡で曳行していたものでした。作者は明治期に活躍した彫物師で、大阪東区本町四丁目に店を構えていた小松源助であることが、銘文からはっきりしています。そして約百年前、吹田の南町の所有となりました。昭和三八年、当時服部緑地（豊中市）にあった「原野農芸博物館」の所蔵となり、その後博物館移転にともない海を渡って、奄美大島に移されました。

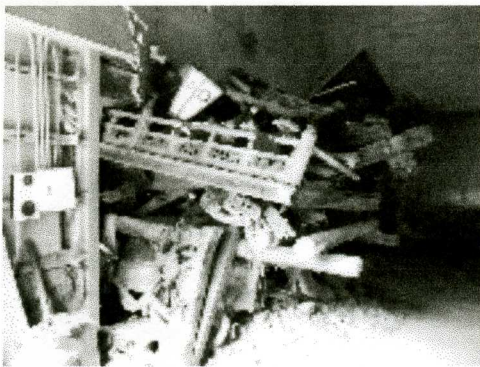
市内のだんじりと比較

今回資料館が借り受け、計測し、同じく「小松源助」銘のだんじりを所有する、大東市内のだんじりとを突合せ、共通項を見出すことが目的です。そしてこの作業をつうじてさまざまなアプローチの仕方でも、庶民の文化財としてのだんじり研究の端緒を開こうというものです。

京都造形芸大の学生さんと タッグを組んで

またこの事業は、資料館が京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科とも連携し、学生さんたちと共同で、地域事業として取り組みの大きな特徴です。

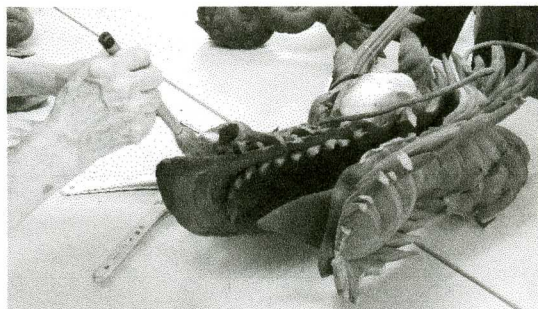
現在、お借りしてきただんじりを館の指導で、市民学芸員が計測中ですが、この成果の一端



（前頁よりつづく）

・市民学芸員活動で記憶に残っていることは？

第1回市民学芸員展での住道駅前のお手伝いとか、だんじりの



70cmある竜の頭のホコリを掃います。もとのだんじりの豪華さが偲べれます。

はこの冬に予定されている展示で紹介することができるでしょう。

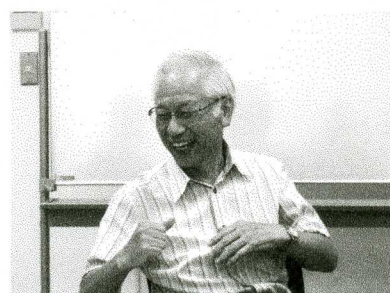
中西 昭治

市

市民学芸員になって文化財に直接触れることができるとは思ってもいませんでした。始めは「本当に触ってよいのかなあ」とこわごわでした。そのうちだんだん慣れてきて、専門家になったような気分を体験することができました

友田 晴通

どろまくの補修とか。あれは糸目かわからんで、難儀しました。そういうのをよかったですなあとと思う。



ここに保管してある民具を整理できたらと思う。。

・市民学芸員として今後どのようなことをしていきたいですか？

自分の性格上は、小さいことをコツコツというかな。ちょっと気になったんはね、民具が多く倉庫にあるでしょ。整理できたらと思うけどな。ガイドもできたらなあとも思うけども。老体には無理かも。

大東市に四〇年住んでいて、何にもお返ししてないからね。何か、お返しするっていうとね、傲慢な言い方ですが、大東市民の皆さんに歴史資料を知ってもらう企画のお手伝いとかで、何か返せればよいなと思っています。

（聞き手 武井二葉）

専応寺さんの隠れた記録 「ふすまの中から古文書をさがす」

水永八十生

歴史民俗資料館で野崎の専応寺に保管されている古い襖の調査をしました。表紙から順に襖紙を剥がし、当時は不要になって、下張りに使われている和紙を取り出す作業です。私たち市民学芸員も、資料館の学芸員と古文書の専門家の先生に教えを受けながら、水槽に浸けた紙の層を一枚一枚剥がしていく地味な作業に参加しています。

剥がした和紙は、新しいものとして昭和初期の新聞がありました。概ね江戸中期から明治期のものが中心です。さすがに和紙は丈夫で、墨の色も鮮やかに残っていて、当時の暮らしを、二百年の時を超えて、私たちの目の前に蘇らせてくれます。

十一月からの専応寺に関する特別展で新事実が報告されるかもしれません。展示が待たれます。



▲下張りを1枚ずつ剥がす作業に取り組みました。下張りは「廃物利用」された和紙ですが、何が書き留められていたのでしょうか。専応寺さんの秘めた歴史を物語るものが出てこないでしょうか。

以前、古文書入門講座を短期間受けました。今回「フスマのなかから古文書をさがそう」というイベント、おもしろそうだなあと参加しました。床に置かれたブルーに昨日から漬けられている専応寺所有のフスマを破らない

ように気をつけながらソツソツト作業していきます。

でも和紙は強いとはいっても長い年月の間に劣化が進んで、こちらの気持がたわらさずアーとため息が。そのうち無理な姿勢のせいか足は痛い背中では悲鳴をあげる

わ床に座り込んだりです。思うように作業は進みません。言うは易く行うはかたしを実感しました。とうとう一日目で音をあげてしまいました。さて成果はあったのでしょうか。

松下 茂子

新聞 広告紙 教科書？
表紙から何重にも重ねられて、ふすま紙の強度が保たれているのを見て、昔は紙がとて

も貴重な物だった事を実感しました。ふすま紙をめくっていき古文書が現れたときは宝物でも見つけたような不思議な気持ちになり、あっと言う間に時間が過ぎてしまいました。

中下志津子

市民学芸員 活動の記録

2014年4月から9月まで
※ は自主参加の催しです

- 4月 1日 (火) 市民学芸員REPORT第6号発行
- 4月20日 (日) 3館共同事業「野崎ウォーク」
- 4月26日 (土) 新市民学芸員と顔合わせ
- 5月10日 (土) 打ち合わせ 「だんじりについて」
- 5月17日 (土) (「学芸員体験講座」スタート)
- 5月25日 (日) 打ち合わせ 「だんじりについて」
- 5月31日 (土) 史跡・文化財見学会

「深野池と巨椋池」※

- 6月22日 (日) 講義「だんじりについて」
- 6月28日 (土) 講座「京都で理科教育がはじまった理由-明治の理科教育-」※

- 7月 7日 (月) ~11日 (金)
「襖の中から古文書を探そう」(随時参加)
- 7月12日 (土) 見学会「近代産業遺産をめぐる」※
- 7月13日 (日) 講義 「だんじりの彫り物について」
「奄美のだんじり について」

- 7月20日 (日) ・8月4日 (月)
「むかしの大東・むかしのあそび」準備

- 8月 9日 (土) 「むかしの大東・むかしのあそび」
- 8月24日 (日) 講義 「民俗資料の保存と修復」
だんじり実習作業 (クリーニング)

- 8月25日 (月) ~28日 (木) (随時参加)
「襖の中から古文書を探そう」(随時参加)

- 8月31日 (日) だんじり実習作業
- 9月 8日 (月) 市民学芸員会議
- 9月 8日 (月) ~12日 (金) だんじり計測作業
- 9月22日 (月) ~25日 (木)

- 「襖の中から古文書を探そう」(随時参加)
- 9月25日 (月) 市民学芸員REPORT第7号発行

私の「大東」考

中村 義之

十年ほど前に幕を閉じたが、「大東」という名称をもつ市町村が集まり、話し合う「大東サミット」が開催されていた。市町村合併によって、このサミットが廃止になった後は、大阪の大東市だけが市町村名として名称を残している。

ここで「大東」という意味を考えてみたい。広辞苑(第四版)を開いてみれば、「東のはて、極東、転じて日本の称」とある。ちなみに東京に大東文化大

学という学校もある。この「大東」というのは、「極東」という、そういう深遠な神秘的な意味、意義をもっている。大東市は、大阪府の東部に位置する市で、おそらく単純に大阪の東の地にある町「大東市」と名づけたものと思われる。しかし一方で、前記の様な「大東」という深遠な意味もあると私は思いたい。

市民学芸員 presents

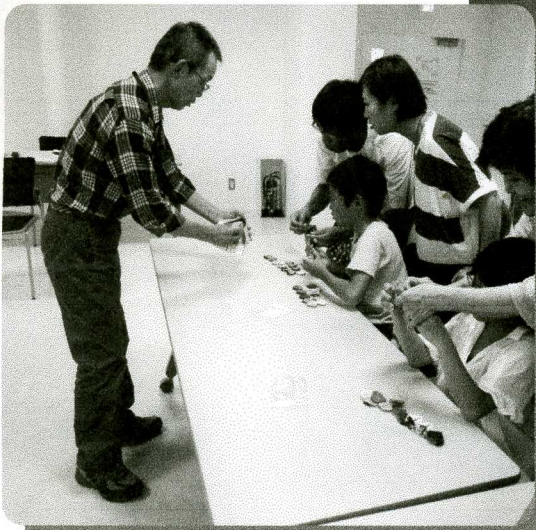
しのあそび

8月9日
歴史とスポーツふれあいセンター
多目的室1 にて

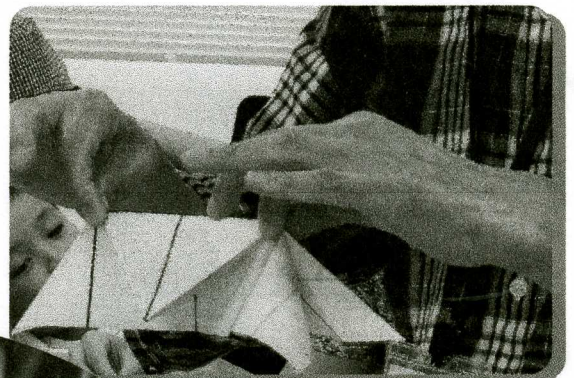
むかしの あそび

雨の中長靴を履いて参加してくれた子どもたち、ちょっと難しかった万華鏡。参加された親御さんたちが夢中になって折られ、完成すると子どもたちが大喜び。私も見本を頂いて帰り、家で折ったが、とうとう仕上がらなかった。 黒川 喜和子

万華鏡を折り紙でつくるとって
どうやるのだろう。
期待をぶくまらせて、さあ、
親子で挑戦開始。



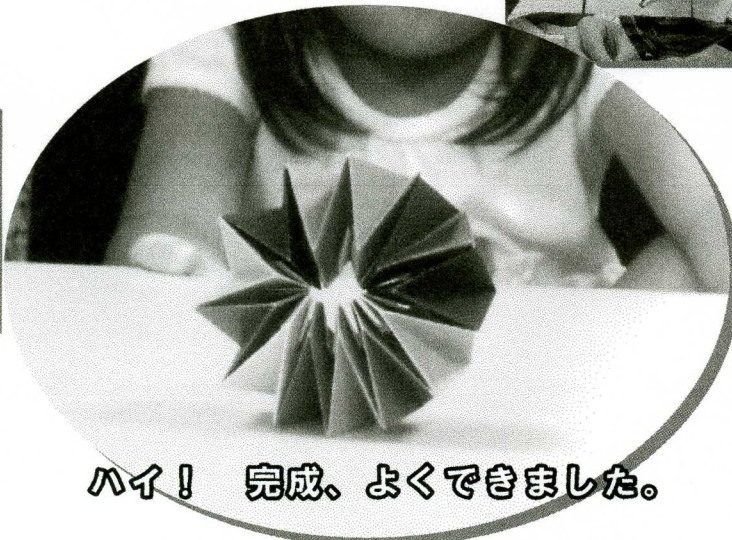
この遊びのリーダー浅野
純郎さん、全員が完成さ
せるようにと大奮闘。



ポイントとなる折り目をしっ
かり決めることが成否の分
れ目です。



ここまで折った、12の
パーツを繋げるのが、む
ずかしい。



ハイ！ 完成、よくできました。



